



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月6日

上場会社名 タキロン株式会社
 コード番号 4215
 代表者 (役職名)代表取締役社長(氏名)森下 誠二
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)武田 豊

上場取引所 東証一部 大証一部
 URL <http://www.takiron.co.jp/>

TEL (06)6267 - 2778

(百万円未満切捨)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日~平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	17,266	0.3	628	3.0	561	1.3	224	27.0
19年3月期第1四半期	17,315	3.6	647	0.6	554	5.1	306	11.4
19年3月期	69,118		2,892		2,818		1,518	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	3.02	3.01
19年3月期第1四半期	4.14	4.12
19年3月期	20.51	20.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	78,576	41,550	51.4	545.13
19年3月期第1四半期	76,692	40,639	51.4	531.83
19年3月期	77,191	41,734	52.3	545.52

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	1,576	692	355	6,304
19年3月期第1四半期	348	1,048	33	5,162
19年3月期	2,919	3,130	608	5,780

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	3.50	4.50	8.00
20年3月期(予想)	4.00	4.00	8.00

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中 間 期	35,000	2.1	1,200	10.1	1,200	1.7	500	31.6	6.75
通 期	73,000	5.6	3,000	3.7	3,000	6.5	1,600	5.4	21.61

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成20年3月期の連結業績予想は平成19年5月15日発表の業績予想と変更ありません。

なお、上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の経営成績につきましては、連結売上高172億6千6百万円(対前年同期比0.3%減)、連結営業利益6億2千8百万円(対前年同期比3.0%減)、連結経常利益5億6千1百万円(対前年同期比1.3%増)、連結四半期純利益は2億2千4百万円(対前年同期比27.0%減)となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

住環境事業

住宅資材部門は、内装材が市場浸透が進んだものの、1~3月の新設戸建着工数前年割れの影響を受け、管工機材を中心に低調に推移しました。雨どいも新製品は大手需要家の採用により拡大しましたが、従来品の落込みが大きく、部門全体として前年同期を下回りました。

採光材部門は、建材用ポリカーボネート平板が、カーポート、テラスなどのエクステリア用途向けが好調に推移しました。一方、波板は総需要が低下傾向のうえ、記録的な暖冬による東北・北陸地域での雪害張替え需要が低迷したため部門全体として前年同期を下回りました。

環境資材部門は、土木用資材が公共投資削減の環境下、緑化分野など民需中心の物件獲得により伸長しました。農業・園芸用資材は前年同期並みで推移しました。

床材部門は、マンション改修工事の増加に加え、マンション新築市場の堅調な需要により防滑性シート「タキストロン」、階段用床材「タキステップ」が好調に推移した結果、前年同期を上回りました。

その結果、部門の業績は、売上高93億7千6百万円(対前年同期比4.0%増)、営業利益は、6億3千2百万円(対前年同期比2億1千6百万円増)となりました。

高機能材事業

プレート部門は、液晶製造装置分野の低迷が継続していることに加え、半導体製造装置分野に一服感が見られたこともあり、工業用プレートを中心とした販売がやや低調に推移し、前年同期を下回りました。

ポリカプレート部門は、汎用ポリカプレートは順調に推移しましたが、光学用途が落ち込んだため、前年同期を下回りました。

電材部門は、システム連動販売が順調に推移しましたが、電子部品販売が落ち込んだため、前年同期を下回りました。

その結果、部門の業績は、売上高73億7千6百万円(対前年同期比5.6%減)、営業利益1億9千3百万円(対前年同期比1億9千4百万円減)となりました。

メディカル事業

骨接合材は、胸部呼吸器外科分野と脳神経外科分野が順調に伸長しましたが、整形外科分野と顎顔面分野はほぼ前年並みに推移しました。導電性粘着材は、輸出の減少によりやや低調に推移しました。

その結果、部門の業績は、売上高3億4千1百万円(対前年同期比12.2%増)となりましたが、昨年9月のメディカル研究所の開所による研究開発費の増加等により営業損失1億2千4百万円(前年同期比2千1百万円の損失の増加)となりました。

その他

公共事業予算の削減が進む中で、当社の主力商品である下水道の高度処理及び浸水対策、維持管理及び更新事業関連の予算は増加しており、引合いは活発なものの、競争激化に伴う低価格での受注が常態化している状況です。

その結果、部門の業績は、売上高1億7千1百万円(対前年同期比4.6%減)、営業損失7千2百万円(前年同期比2千万円の損失の増加)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、主に流動資産が前期末比10億4千8百万円増加(主に現金及び預金、その他流動資産の増加)したことにより13億8千5百万円増加しました。一方、負債は、主に流動負債が前期末比21億4千2百万円増加(主に支払手形及び買掛金、その他流動負債の増加)したことにより15億6千9百万円増加しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末から5億2千4百万円増加し、63億4百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億7千6百万円の収入となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益5億4千5百万円、減価償却費6億9千6百万円、仕入債務の減少7億2千1百万円、法人税等の支払額10億3千4百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により6億9千2百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により3億5千5百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年5月15日に公表しました業績予想は、中間期、通期とも変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用
引当金の計上基準、税金費用の計算等に一部簡便的な方法を採用しております。
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更
該当事項はありません。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円,%)

期 別 科 目	前 期 (平成19年3月31日現在)		当第1四半期 (平成19年6月30日現在)		増 減	前第1四半期 (平成18年6月30日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%			%
流動資産	44,048	57.1	45,097	57.4	1,048	43,389	56.6
現金・預金	5,781		6,307		525	5,164	
受取手形・売掛金	26,635		26,332		302	25,857	
有価証券	19		19		-	20	
たな卸資産	10,196		10,434		237	9,814	
繰延税金資産	736		735		0	529	
その他	986		1,573		586	2,302	
貸倒引当金	307		306		1	299	
固定資産	33,142	42.9	33,479	42.6	336	33,303	43.4
有形固定資産	22,737	29.4	22,892	29.1	154	22,765	29.7
無形固定資産	520	0.7	526	0.7	6	492	0.6
投資等	9,884	12.8	10,060	12.8	176	10,044	13.1
資産合計	77,191	100.0	78,576	100.0	1,385	76,692	100.0
(負債の部)							
流動負債	21,881	28.3	24,024	30.6	2,142	22,103	28.8
支払手形・買掛金	13,973		14,695		721	14,857	
短期借入金	3,283		3,393		110	3,230	
1年内償還予定の社債	50		50		-	50	
その他	4,572		5,884		1,311	3,965	
固定負債	13,575	17.6	13,001	16.5	573	13,950	18.2
社債	75		75		-	125	
長期借入金	1,500		1,500		-	1,800	
退職給付引当金	11,034		10,686		348	11,112	
その他	965		740		224	912	
負債合計	35,456	45.9	37,025	47.1	1,569	36,053	47.0
(純資産の部)							
株主資本	39,191	50.8	39,089	49.8	102	38,233	49.9
資本金	15,189		15,189		-	15,189	
資本剰余金	14,666		14,667		0	14,666	
利益剰余金	10,721		10,612		109	9,766	
自己株式	1,385		1,378		6	1,388	
評価・換算差額等	1,207	1.6	1,294	1.6	87	1,142	1.5
その他有価証券評価差額金	1,222		1,312		90	1,162	
為替換算調整勘定	15		18		3	20	
少数株主持分	1,335	1.7	1,166	1.5	168	1,263	1.6
純資産合計	41,734	54.1	41,550	52.9	183	40,639	53.0
負債および純資産合計	77,191	100.0	78,576	100.0	1,385	76,692	100.0

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円, %)

期 別 科 目	前第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		当第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日		増 減	前 期 自平成18年4月1日 至平成19年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
売 上 高	17,315	100.0	17,266	100.0	48	69,118	100.0
売 上 原 価	11,937	69.0	11,903	68.9	34	48,034	69.5
売 上 総 利 益	5,377	31.0	5,363	31.1	14	21,084	30.5
販売費・一般管理費	4,729	27.3	4,735	27.5	5	18,191	26.3
営 業 利 益	647	3.7	628	3.6	19	2,892	4.2
営業外収益	77		106		28	435	
営業外費用	170		173		2	509	
経 常 利 益	554	3.2	561	3.3	7	2,818	4.1
特別利益	55		9		45	20	
特別損失	49		26		23	95	
税金等調整前四半期 (当期)純利益	559	3.2	545	3.2	14	2,743	4.0
税金費用	231		294		62	1,116	
少数株主利益(減算)	21		27		5	108	
四半期(当期)純利益	306	1.8	224	1.3	82	1,518	2.2

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別		前 期	
	前第1四半期 自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日	当第1四半期 自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日	前 期 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純損益	559	545	2,743	
減価償却費	686	696	2,758	
退職給付引当金の増減額	167	348	245	
売上債権の増減額	745	297	1,532	
たな卸資産の増減額	833	237	1,094	
仕入債務の増減額	116	721	767	
法人税等の支払額(還付額)	133	1,034	493	
その他	169	936	563	
営業活動によるキャッシュ・フロー	348	1,576	2,919	
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	830	557	2,605	
有形固定資産の売却による収入	-	1	56	
投資有価証券の取得による支出	209	101	521	
投資有価証券の売却による収入	-	23	75	
その他	9	58	134	
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,048	692	3,130	
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額	210	112	38	
長期借入による収入	-	-	-	
長期借入金の返済による支出	-	-	-	
社債の償還による支出	-	-	50	
少数株主からの子会社株式の買入れによる支出	-	148	-	
自己株式の取得による支出	1	2	8	
配当金の支払額	240	310	519	
その他	1	6	8	
財務活動によるキャッシュ・フロー	33	355	608	
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3	6	
現金及び現金同等物の増減額	1,430	524	812	
現金及び現金同等物の期首残高	6,592	5,780	6,592	
現金及び現金同等物の期末残高	5,162	6,304	5,780	

(4)セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期(自平成18年4月1日至平成18年6月30日)

(単位:百万円)

	住環境事業	高機能材事業	メディカル事業	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,015	7,815	304	179	17,315	-	17,315
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	292	292	(292)	-
計	9,015	7,815	304	472	17,607	(292)	17,315
営業費用	8,599	7,427	408	524	16,959	292	16,667
営業利益又は営業損失()	415	388	103	52	647	(0)	647

当第1四半期(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

(単位:百万円)

	住環境事業	高機能材事業	メディカル事業	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,376	7,376	341	171	17,266	-	17,266
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	268	268	(268)	-
計	9,376	7,376	341	440	17,535	(268)	17,266
営業費用	8,744	7,183	466	513	16,907	268	16,638
営業利益又は営業損失()	632	193	124	72	628	(0)	628

前期(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	住環境事業	高機能材事業	メディカル事業	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	34,973	31,049	1,309	1,786	69,118	-	69,118
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	1,152	1,152	(1,152)	-
計	34,973	31,049	1,309	2,938	70,270	(1,152)	69,118
営業費用	33,373	29,532	1,623	2,849	67,378	1,152	66,226
営業利益又は営業損失()	1,599	1,517	314	89	2,892	(0)	2,892

(注) 1. 事業区分の方法

製品の使用目的を考慮し、住環境事業、高機能材事業、メディカル事業及びその他に区分しております。

2. 各区分の主要な製品

住環境事業	採光建材、外装建材、管工機材、住器製品、エクステリア製品、内装建材、床材、合成樹脂被覆鉄線、合成樹脂被覆鋼管、プラスチックネット・ネット状パイプ、ポリエチレン製排水材他
高機能材事業	硬質塩ビプレート、ポリカーボネートプレート、PETプレート、PPプレート、アクリルプレート他、PP/PE丸棒、プラスチック看板および屋外広告物等、ポリエチレンタンク、クイックサイン表示器(LED表示パネル)、アセテートシート他
メディカル事業	吸収性骨接合材、導電性粘着材
その他	上・下水用覆蓋、下水管渠リニューアル工法、上水道関連商品、当社グループの製品運送及び保管業務等他